

# 予算のあらまし

令和8年度（2026年度）

ふるさと秦野をより確かな未来につなぐ予算

—「水とみどりに育まれ 誰もが輝く 暮らしよい都市<sup>まち</sup>」の実現に向けて—



OMOTAN

表 丹 沢

秦 野 市

# 目 次

1	市政の運営方針	1
2	予算の概要	2
3	一般会計予算の状況	
	(1) 歳入の概要	4
	(2) 歳出の概要	6
	(3) 一般会計当初予算額の推移	8
	(4) 市債及び基金現在高の状況	9
	(5) 令和8年度の主な取組	11
4	水道事業会計予算の状況	18
5	公共下水道事業会計予算の状況	20
6	国民健康保険事業特別会計予算の状況	22
7	介護保険事業特別会計予算の状況	23
8	後期高齢者医療事業特別会計予算の状況	24
9	資 料	25

表紙の写真（左側）は、令和8年度に<sup>対面</sup>通行が開始される<sup>県道</sup>705号です。  
県道705号沿道を中心に、秦野駅北口周辺を対象とした中心市街地の活性化に向けて、多世代交流施設の整備と商業・業務系施設の誘致を進め、新たなにぎわいの創出に取り組めます。

# 1 市政の運営方針

県道705号の対面通行が開始されることに加え、新東名高速道路の全線開通や秦野丹沢サービスエリアの開設が目前に控えるなど、まちづくりの大きな転換期を迎える中、本市の飛躍・発展に向けて、地域の資源や魅力を最大限に活用した「表丹沢の魅力づくり」や、「小田急線4駅周辺におけるにぎわい創造」に向けた取組について積極的に展開していきます。

また、「女性と子どもが住みやすいまちづくり」に一層力を入れ、市民が安心して、結婚・妊娠・出産・子育て期から子どもたちが社会にはばたくまで、切れ目のない支援の充実・強化を加速していきます。

加えて、安全・安心な暮らしを実現するため、避難所機能の充実など、災害への備えを一層強化していくほか、暮らしの利便性を高めるデジタル化の推進や、カーボンニュートラルへの取組も着実に進めていきます。

このように、新たに始動する総合計画後期基本計画のリーディングプロジェクト「“住んでみよう・住み続けよう” 秦野みらいづくりプロジェクト」を重点的に進めていくことで、誰もが魅力を感じる『**全国屈指の森林観光都市**』を目指します。

## 2 予算の概要

### ふるさと秦野をより確かな未来につなぐ予算

歳入の根幹である市税は、賃金上昇等の影響を踏まえ、令和7年度に比べ5億円増の237億円と見込むものの、歳出では、介護給付・訓練等給付や、生活保護に要する扶助費などの社会保障費が大きく増加していることに加え、物価高騰への対策など、複雑化・多様化する行政需要への的確な対応が求められており、依然として厳しい財政状況が続きます。

しかし、このような厳しい状況にあるからこそ、未来への投資につながる事業については、好機を捉え、積極的に実施していく必要があります。

そのため、令和8年度は、まちづくりの大きな転換期を迎える中、確かな未来への道筋をつけていくため、「ふるさと秦野をより確かな未来につなぐ予算」として、過去最大となる予算を編成しました。

令和8年度予算における予算総額は、一般会計では671億4,000万円となり、前年度と比べて30億7,000万円（4.8%）の増となりました。

また、地方公営企業会計及び特別会計を加えた全会計では1,128億8,100万円となり、前年度と比べて39億1,500万円（3.6%）の増となりました。

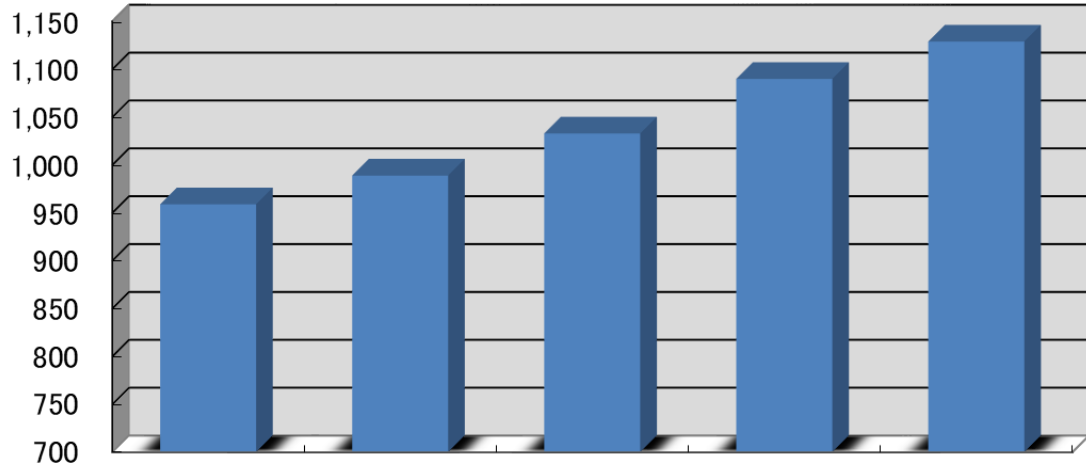
## 【令和8年度会計区分別予算構成】

(単位:千円、%)

会計区分	令和8年度 当初予算	令和7年度 当初予算	比較		構 成 比		
			増減額	増減率	令和8年度	令和7年度	
一般会計	67,140,000	64,070,000	3,070,000	4.8	59.5	58.8	
企 地 業 方 公 営 会 計	水道事業	4,903,000	4,367,000	536,000	12.3	4.3	4.0
	公共下水道事業	5,828,000	5,339,000	489,000	9.2	5.2	4.9
特 別 会 計	国民健康保険事業	16,629,000	16,748,000	△ 119,000	△ 0.7	14.7	15.4
	介護保険事業	14,440,000	15,032,000	△ 592,000	△ 3.9	12.8	13.8
	後期高齢者医療事業	3,941,000	3,410,000	531,000	15.6	3.5	3.1
計	112,881,000	108,966,000	3,915,000	3.6	100.0	100.0	

## 【最近5年間の当初予算総額の推移】

(億円)



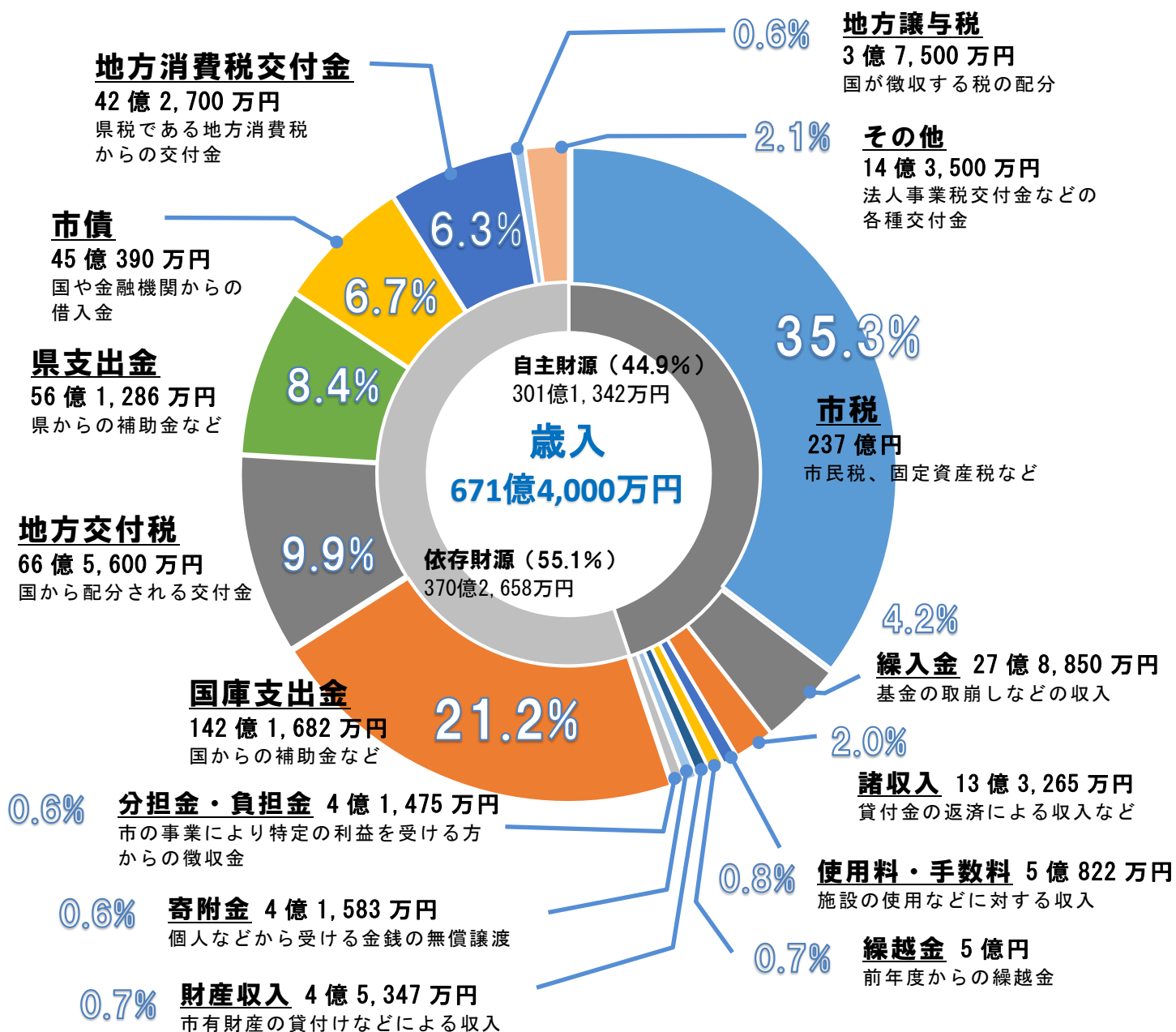
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算額	959億4,300万円	988億7,400万円	1,033億3,300万円	1,089億6,600万円	1,128億8,100万円
対前年度伸率	2.7%	3.1%	4.5%	5.5%	3.6%
市民1人 当たりの額	60万864円 (159,675人)	62万620円 (159,315人)	65万1,081円 (158,710人)	68万9,200円 (158,105人)	71万8,141円 (157,185人)

※ ( ) 内の人数は、各年度3月末日現在の住民基本台帳人口

### 3 一般会計予算の状況

#### (1) 歳入の概要

歳入の款別の構成比で最も大きい市税については、前年度と比べて5億円増の237億となりました。主な増額要因として、個人市民税について、賃金上昇等の影響を踏まえたことにより、令和7年度予算に比べ、3億4,030万円の増を見込みました。



※端数調整のため、割合の合計が100%になりません。

## 【一般会計当初予算（歳入）の前年度比較】

(単位:千円、%)

款	令和8年度	令和7年度	比較		構成比	
			増減	伸率	令和8年度	令和7年度
1 市 税	23,700,000	23,200,000	500,000	2.2	35.3	36.2
2 地 方 譲 与 税	375,000	377,000	△2,000	△ 0.5	0.6	0.6
3 利 子 割 交 付 金	43,000	14,000	29,000	207.1	0.1	0.0
4 配 当 割 交 付 金	260,000	195,000	65,000	33.3	0.4	0.3
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	367,000	319,000	48,000	15.0	0.5	0.5
6 法 人 事 業 税 交 付 金	367,000	346,000	21,000	6.1	0.5	0.5
7 地 方 消 費 税 交 付 金	4,227,000	3,748,000	479,000	12.8	6.3	5.9
8 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	96,000	88,000	8,000	9.1	0.1	0.1
9 環 境 性 能 割 交 付 金	1	104,000	△103,999	△ 100.0	0.0	0.2
10 地 方 特 例 交 付 金	285,000	149,000	136,000	91.3	0.4	0.2
11 地 方 交 付 税	6,656,000	6,304,000	352,000	5.6	9.9	9.8
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	17,000	19,000	△2,000	△ 10.5	0.0	0.0
13 分 担 金 及 び 負 担 金	414,753	348,432	66,321	19.0	0.6	0.5
14 使 用 料 及 び 手 数 料	508,218	502,087	6,131	1.2	0.8	0.8
15 国 庫 支 出 金	14,216,815	12,169,169	2,047,646	16.8	21.2	19.0
16 県 支 出 金	5,612,860	5,089,802	523,058	10.3	8.4	8.0
17 財 産 収 入	453,466	346,097	107,369	31.0	0.7	0.5
18 寄 附 金	415,836	414,599	1,237	0.3	0.6	0.7
19 繰 入 金	2,788,498	2,559,359	229,139	9.0	4.2	4.0
20 繰 越 金	500,000	500,000	0	0.0	0.7	0.8
21 諸 収 入	1,332,653	2,340,955	△1,008,302	△ 43.1	2.0	3.7
22 市 債	4,503,900	4,936,500	△432,600	△ 8.8	6.7	7.7
歳 入 合 計	67,140,000	64,070,000	3,070,000	4.8	100.0	100.0

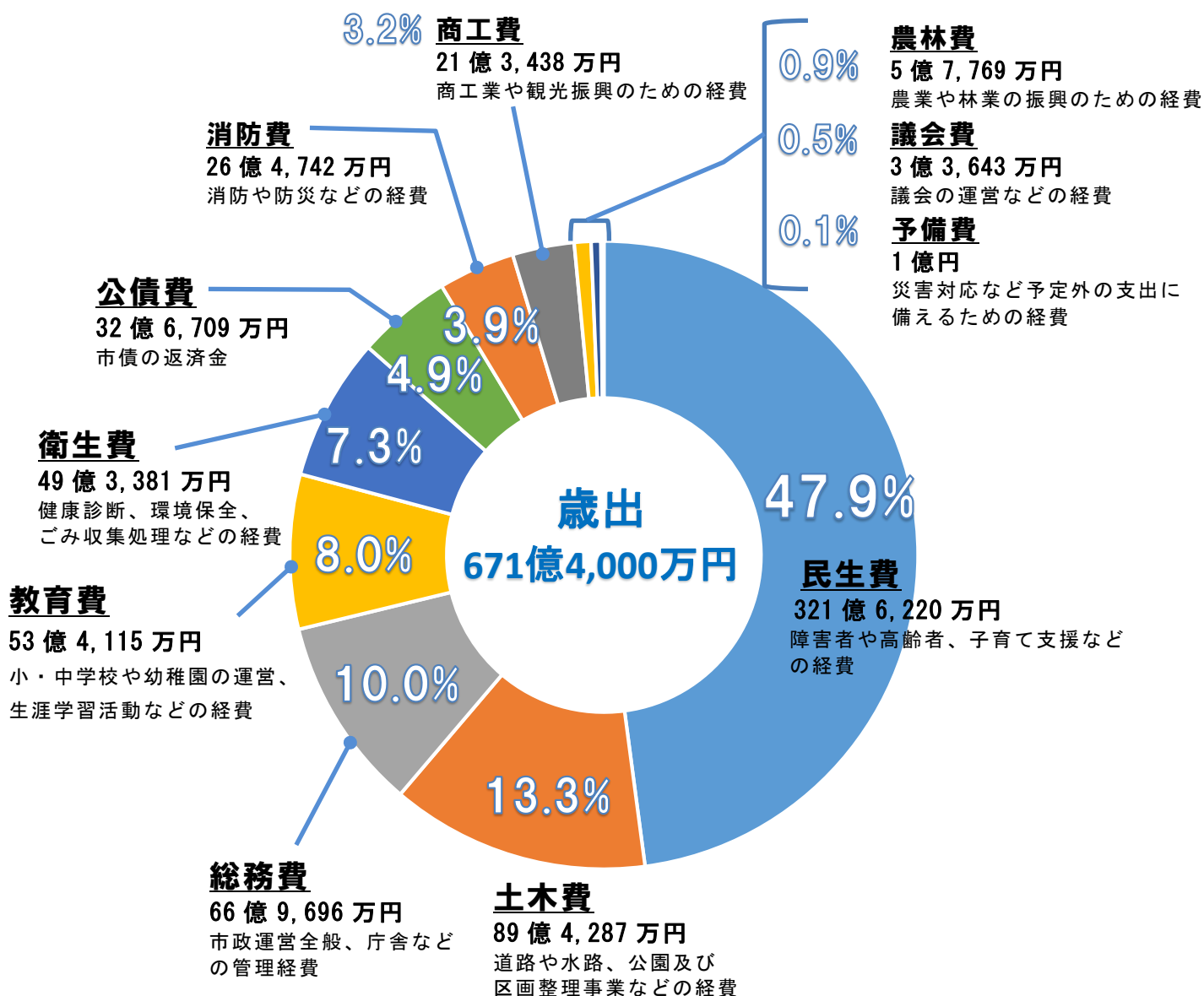
## (2) 歳出の概要

歳出の款別（目的別）の構成比では、障害福祉サービス利用者の増による介護給付・訓練等給付費事業費や医療扶助・介護扶助の増による生活保護費の増加などを見込む民生費が47.9%と最も多くを占めています。

前年度との比較では、令和7年度にクアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）の特定天井等改修工事が完了したことにより、総務費が12億5,769万円（15.8%）減の66億9,696万円となりました。

また、秦野駅北口周辺において多世代交流施設の整備と商業・業務系施設の誘致を進めていくことで、商工費が前年度と比べて3億6,931万円（20.9%）増の21億3,438万円となりました。

### 【一般会計当初予算（目的別歳出）】

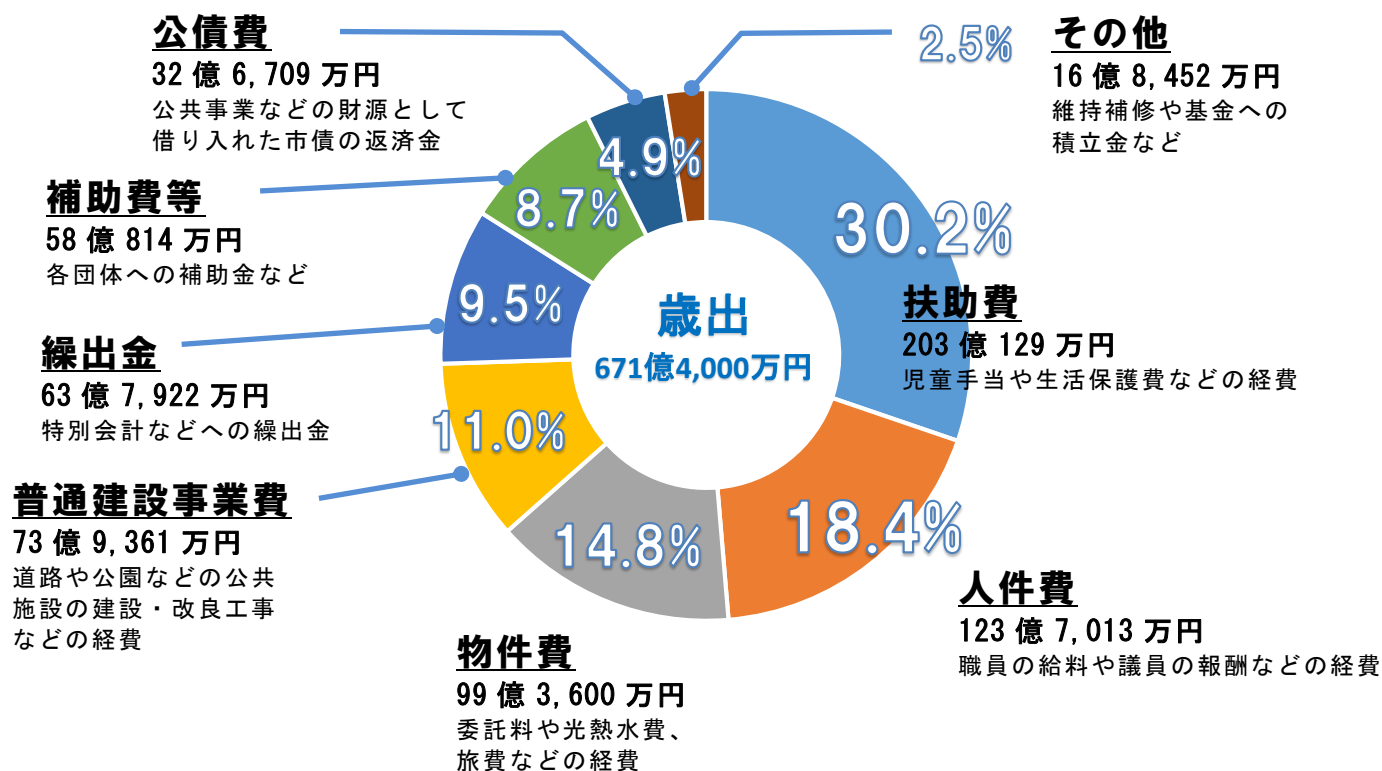


## 【一般会計当初予算（目的別歳出）の前年度比較】

(単位:千円、%)

款	令和8年度	令和7年度	比較		構成比	
			増減	伸率	令和8年度	令和7年度
1 議会費	336,426	346,385	△ 9,959	△ 2.9	0.5	0.5
2 総務費	6,696,962	7,954,652	△ 1,257,690	△ 15.8	10.0	12.4
3 民生費	32,162,197	29,599,625	2,562,572	8.7	47.9	46.2
4 衛生費	4,933,804	4,471,091	462,713	10.3	7.3	7.0
5 農林費	577,690	612,423	△ 34,733	△ 5.7	0.9	0.9
6 商工費	2,134,381	1,765,069	369,312	20.9	3.2	2.7
7 土木費	8,942,870	8,450,310	492,560	5.8	13.3	13.2
8 消防費	2,647,424	2,683,469	△ 36,045	△ 1.3	3.9	4.2
9 教育費	5,341,153	4,845,781	495,372	10.2	8.0	7.6
10 公債費	3,267,093	3,241,195	25,898	0.8	4.9	5.1
11 予備費	100,000	100,000	0	0.0	0.1	0.2
歳出合計	67,140,000	64,070,000	3,070,000	4.8	100.0	100.0

## 【一般会計当初予算（性質別歳出）】

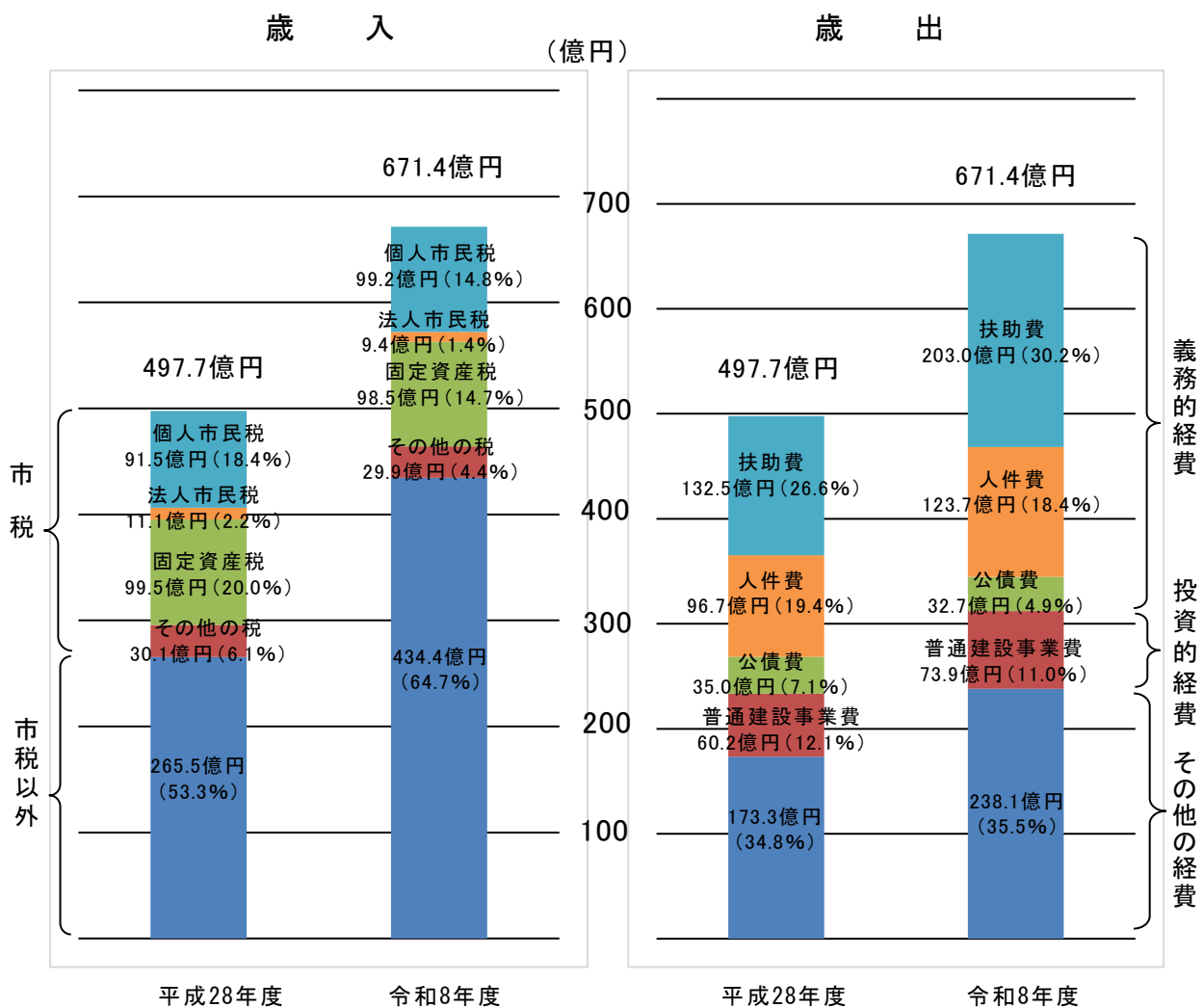


### (3) 一般会計当初予算額の推移

一般会計当初予算額について、10年前と比較すると、173億7,000万円(34.9%)増えています。

歳入では、自主財源の根幹である市税は、生産年齢人口の減少などにより伸び悩み、4億8,000万円(2.1%)の増にとどまる一方で、地方交付税、国庫支出金及び県支出金といった依存財源の増により、市税以外が168億9,000万円(63.6%)の増となっています。

歳出では、少子高齢化の進行に伴い、生活保護費などの扶助費が70億4,818万円(53.2%)の増となるとともに、人事院勧告を踏まえた給料月額及び地域手当の支給率の引き上げなどにより、人件費が26億9,980万円(27.9%)の増となっています。また、都市計画道路菩提横野線・矢坪沢水路の整備等により、普通建設事業費が13億7,683万円(22.9%)の増となっています。



※ ( ) 内の数値は構成比

## (4) 市債及び基金現在高の状況

### ○市債の状況

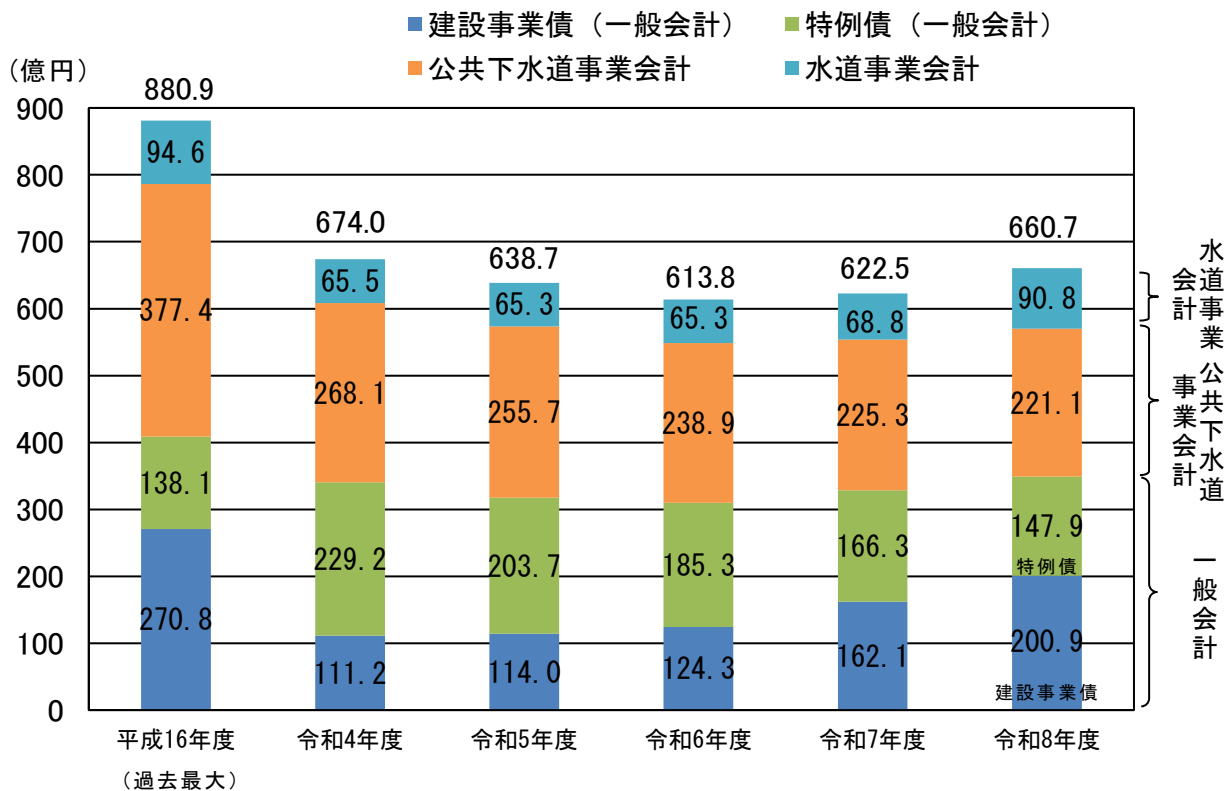
本市では、将来世代に過度な負担を残さないよう、計画的な市債の借入に努めています。

令和8年度末の市債現在高について、一般会計においては、保健福祉センターの施設・設備の改修などにより、前年度と比べて20億4,745万円(6.2%)の増を見込んでいます。

また、全会計では、前年度と比べて38億2,419万円(6.1%)の増となる660億7,339万円を見込んでいますが、過去最大であった平成16年度末と比較すると、220億1,811万円(25.0%)縮減しています。

なお、一般会計における特例債のうち、臨時財政対策債は、市が標準的な行政サービスを提供するに当たり、不足する財源を補う普通交付税の代替財源として、平成13年度の制度創設以来借り入れてきました結果、市債全体に占める割合は4割程度という状況にあります。

### 【市債現在高の推移及び推計】



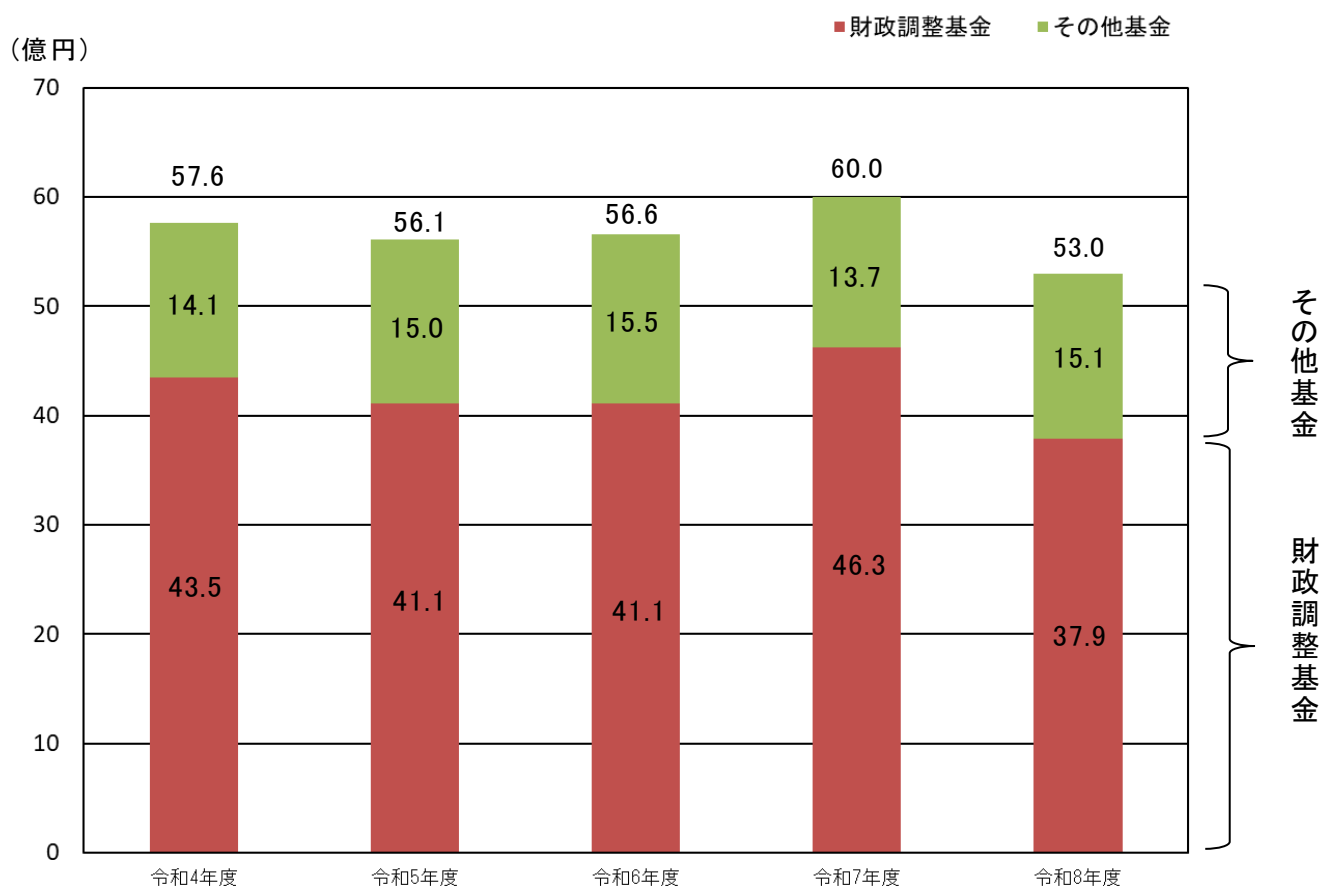
※令和6年度までは各年度末実績、令和7年度及び8年度は年度末見込

## ○基金の状況（一般会計）

一般会計の基金全体の現在高は、財源不足に対する財政調整基金の取崩しなどにより、令和8年度末では6億9,739万円（11.6%）減の52億9,901万円を見込んでいます。

財政調整基金の令和8年度末残高は、目安としている標準財政規模の10%（約30億円）を確保できる見込みです。本基金は、年度間の財政の不均衡を調整し、不測の財政需要に備え積み立てる、いわゆる「市の貯金」としての機能を有することから、今後も激甚化・大規模化する自然災害や物価高騰など、不測の事態にも柔軟に対応できるよう引き続き適正残高の確保に努めます。

### 【基金現在高の推移及び推計】



※令和7年度までは各年度末実績、令和8年度は年度末見込み

## (5) 令和8年度の主な取組

★は新規、○は拡充する取組

“住んでみよう・住み続けよう”  
秦野みらいづくりプロジェクト「5つの誓い2026+1」

### 1 健やかで安全・安心な暮らしづくりプロジェクト

#### (1) 休日夜間急患診療所等の整備に向けた支援【3,058万円】★

医師会、歯科医師会及び薬剤師会が進める休日夜間急患診療所等の一体的な整備に向けて、造成工事等を支援します。

#### (2) 二次救急医療に対する支援の強化【7,259万円】○

持続可能な救急医療体制の構築に向け、二次救急医療に対する支援を強化します。

#### (3) 保健福祉センターの機能強化等【7億6,390万円】★

多目的ホール特定天井改修、空調設備更新工事などを行い、利用者が安心して快適使用できる施設にするとともに、地域福祉及び子育て支援の機能強化を図ることで、相談・支援の更なる充実につなげます。



#### (4) 避難所備蓄品の拡充【1,886万円】○

避難所生活の質の向上を図るため、簡易テントや簡易ベッド等の備蓄品を拡充し、避難所機能の更なる充実を図ります。



## 2 女性と子どもが住みやすいまちづくりプロジェクト

### (1) 産後ケアの充実【4, 410万円】★

希望する全ての産婦が利用できるよう、家族利用も可能な新たな産後ケア等を開始します。



### (2) 秦野で結婚、子育てしてよかったと思える環境づくりの推進

国の抜本的な負担軽減策に加え、その基準を超える部分について、地方創生臨時交付金を活用し、支援することで、小学校給食費の実質無償化を実現します。さらにアレルギーや不登校等の理由により、学校給食の提供を受けていない児童に対しては、喫食児童と同等の支援となるよう、現金給付を行います。



また、中学校や保育所等では、給食食材に対する物価高騰相当額を、引き続き支援することで、保護者に新たな負担を求めることなく、給食の質と量を維持します。

- ・小学校給食費の実質無償化の実現【4億1, 020万円】★
- ・給食食材高騰への支援【1億6, 403万円】○
- ・小学校給食非喫食者への支援【1, 395万円】★

### (3) 学校体育館などへの空調設備導入の推進

【1億2, 376万円】★

学校現場における熱中症対策を推し進めるため、災害発生時には避難所としても利用される中学校体育館や、小・中学校の特別教室の空調工事の設計を実施します。あわせて、小学校給食調理室への空調設置をリース方式により行います。



### **3 表丹沢魅力づくりプロジェクト**

#### **(1) 緑水庵の整備【606万円】○**

老朽化した建具やかやぶき屋根の修繕を行うとともに、敷地内の段差解消やウッドチップ舗装などの整備を行い、国登録有形文化財としての魅力及び多様な活動を支える拠点としての機能向上を図ります。



#### **(2) 羽根林道・向山林道周辺環境整備【1,319万円】○**

樹木の伐採やハイキングコースへの木製ベンチ設置など、環境整備を進め、表丹沢の更なる魅力の向上につなげます。

#### **(3) 羽根森林資源活用拠点（仮称）の整備に向けた取組の推進【646万円】○**

森林観光都市の魅力を感じられる拠点づくりに向け、参入する民間事業者の募集を行います。

#### **(4) 表丹沢野外活動センターにおける体験プログラムなどの充実【3,999万円】○**

林道を活用したアクティビティやジビエ、地場産野菜といった地域の素材を生かした食のイベントの実施など、表丹沢の魅力を支える拠点施設として、サービスの充実を図ります。

## 4 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

### (1) 各駅の特徴や魅力を生かしたのにぎわい創造の推進

電子地域通貨OMOTANコインについて、地域活動を応援した方にポイントを付与するほか、妊婦への支援給付金にポイントを加算するなど、行政ポイントの付与事業を拡充します。あわせて、商店会が実施するOMOTANコインを活用した事業への支援を強化します。



- ・OMOTANコインの活用促進【6,049万円】○
- ・商店会が行うOMOTANコイン活用事業への支援の強化【1,576万円】○

### (2) にぎわいが持続する中心市街地づくりの推進

秦野駅北口周辺を対象とした中心市街地の活性化に向けて、多世代交流施設の整備と商業・業務系施設の誘致を進め、新たなにぎわいの創出に取り組みます。

- ・多世代交流施設の整備に向けた用地の確保などの推進【5億825万円】○
- ・商業・業務系施設の立地に向けた用地の確保などの推進【1億5,802万円】○

### (3) 各駅間を結び、人の流れを生み出す取組の推進

弘法山公園、文化財、桜、湧水などの地域資源を生かした登山やハイキング、まち歩きによる誘客を促進し、各駅周辺のにぎわい創造を推進します。

- ・震生湖の環境整備【742万円】○
- ・弘法山浅間山駐車場の整備【223万円】○



## 5 新東名・246号バイパス最大活用プロジェクト

### (1) 戸川・西大竹地区土地区画整理組合への支援

戸川地区と西大竹地区の土地区画整理事業の早期完成に向けた支援を行います。

- ・戸川地区土地区画整理組合への支援【5, 200万円】
- ・西大竹地区土地区画整理組合への支援【8, 170万円】

### (2) 市内への企業立地などの奨励【1億5,900万円】★

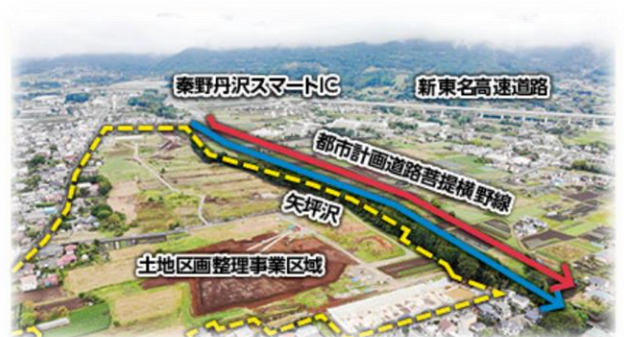
市内における企業の事業拡大や生産性向上のための設備投資等を支援します。

### (3) 都市計画道路菩提横野線・矢坪沢水路の一体的整備

【15億6,961万円】

都市計画道路菩提横野線について、令和14年度の全線供用開始に向け、並行する矢坪沢水路と一体的な整備を進め、秦野丹沢スマートインターチェンジから市街地へのアクセスを高めます。

まずは令和9年度末に予定されている企業の創業に合わせた部分供用開始を目指します。



### (4) 国道246号バイパス関連周辺道路の整理・検討【312万円】★

渋沢丘陵周辺土地利用構想（仮称）に基づき、渋沢丘陵周辺の土地利用及び新たな道路網の具現化に向けた取組を進め、国道246号バイパス（厚木秦野道路）の開通を見据えた道路網の実現に向けて関係機関との調整等を進めます。

## 6 新たな「はだの」創造プロジェクト

### (1) ゼロカーボンな暮らし創出加速化補助金の創設【525万円】★

令和12年度における二酸化炭素の排出量を、平成25年度比で46%削減する目標に向け、市民生活における脱炭素化をより強力に推し進めるため、太陽光発電設備等の住宅への設置にかかる補助制度を創設します。

### (2) 木のある暮らしづくり補助金の創設【620万円】★

森林里山の循環サイクルを構築するための整備を進めるとともに、林野庁が進める「森の国・木の街」づくり宣言へ参画し、木のある暮らしづくりの一環として、建築物の新築・リフォームや木製遊具・玩具の購入等への補助制度を新設するなど、秦野産木材の活用に取り組み、二酸化炭素の吸収、固定化の促進につなげます。



### (3) コンビニ交付の拡充（戸籍謄抄本）【1,749万円】★

戸籍謄抄本をコンビニエンスストア等で取得できるサービスを開始し、ライフイベントで必要となる主要な証明書を、身近で簡単に取得できる環境の充実を図ります。

## 総合計画後期基本計画に掲げた施策

### **1 保育人材確保のための宿舎借上げ支援事業の新設及び補助メニューの 拡充【2,401万円】★**

保育士等への実質的な家賃補助となる宿舎借上げ支援事業を創設するとともに、求人サイト掲載料等の広告に要した経費を補助メニューに追加し、民間保育所等における保育人材確保を促します。

### **2 南公民館の建替に向けた基本設計の実施【2,928万円】★**

令和12年に更新時期を迎える南公民館について、当初検討していた既存敷地内での建替に加え、他の公共施設との複合化の可能性を含めた用地選定や地盤調査、児童館の機能移転の検討などを行い、建替に向け、基本設計を進めます。

### **3 二拠点居住者で構成される団体等と連携した移住促進事業の推進 【475万円】★**

市内で活動している移住者や二拠点居住者で構成される団体等と連携した移住体験ツアーや、移住ポータルサイトの作成などの取組により、本市への移住定住の促進に努めます。

### **4 LUNA SEAメンバーの手形碑の設置【1,800万円】★**

秦野駅列車接近メロディーとして、本市とゆかりの深いロックバンドLUNA SEAの楽曲が導入されたことを記念し、秦野駅北口広場周辺にメンバーの手形碑を設置することで、本市の魅力向上につなげます。

## 4 水道事業会計予算の状況

業務予定量を給水戸数8万1,200戸、年間総給水量1,886万2,000立方メートル、1日平均給水量5万1,677立方メートルと決めました。また、予算規模は、対前年度比12.3%増の49億300万円としました。

### 1 収益的収入及び支出

#### (1) 収入

(単位：千円)

款 項	令和8年度	令和7年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和8年度	令和7年度
1 水道事業収益	2,887,858	2,933,328	△ 45,470	△ 1.6	100.0	100.0
1 営業収益	2,437,162	2,475,603	△ 38,441	△ 1.6	84.4	84.4
2 営業外収益	450,681	457,710	△ 7,029	△ 1.5	15.6	15.6
3 特別利益	15	15	0	0.0	0.0	0.0

#### (2) 支出

(単位：千円)

款 項	令和8年度	令和7年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和8年度	令和7年度
1 水道事業費用	2,832,346	2,807,362	24,984	0.9	100.0	100.0
1 営業費用	2,685,899	2,677,907	7,992	0.3	94.8	95.4
2 営業外費用	122,964	105,957	17,007	16.1	4.3	3.8
3 特別損失	2,483	2,498	△ 15	△ 0.6	0.1	0.1
4 予備費	21,000	21,000	0	0.0	0.8	0.7

## 2 資本的収入及び支出

### (1) 収入

(単位：千円)

款 項	令和8年度	令和7年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和8年度	令和7年度
1 資本的収入	2,267,999	1,666,424	601,575	36.1	100.0	100.0
1 企業債	2,198,600	1,600,500	598,100	37.4	97.0	96.1
2 工事負担金	50,272	65,318	△ 15,046	△ 23.0	2.2	3.9
3 他会計補助金	657	604	53	8.8	0.0	0.0
4 固定資産売却代金	1	1	0	0.0	0.0	0.0
5 基金繰入金	18,468	0	18,468	皆増	0.8	—
6 その他資本的収入	1	1	0	0.0	0.0	0.0

### (2) 支出

(単位：千円)

款 項	令和8年度	令和7年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和8年度	令和7年度
1 資本的支出	3,012,405	2,494,930	517,475	20.7	100.0	100.0
1 建設改良費	2,391,353	1,861,188	530,165	28.5	79.4	74.6
2 企業債償還金	612,399	632,265	△ 19,866	△ 3.1	20.3	25.4
3 基金積立金	7,652	476	7,176	1,507.6	0.3	0.0
4 その他資本的支出	1	1	0	0.0	0.0	0.0
5 予備費	1,000	1,000	0	0.0	0.0	0.0

## 5 公共下水道事業会計予算の状況

業務予定量を水洗化戸数6万5,100戸、年間総処理水量1,469万6,000立方メートル、1日平均処理水量4万263立方メートルと決めました。また、予算規模は、対前年度比9.2%増の58億2,800万円としました。

### 1 収益的収入及び支出

#### (1) 収入

(単位：千円)

款 項	令和8年度	令和7年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和8年度	令和7年度
1 下水道事業収益	5,610,827	5,446,200	164,627	3.0	100.0	100.0
1 営業収益	3,170,800	3,108,646	62,154	2.0	56.5	57.1
2 営業外収益	2,439,964	2,337,492	102,472	4.4	43.5	42.9
3 特別利益	63	62	1	1.6	0.0	0.0

#### (2) 支出

(単位：千円)

款 項	令和8年度	令和7年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和8年度	令和7年度
1 下水道事業費用	5,132,974	5,067,172	65,802	1.3	100.0	100.0
1 営業費用	4,768,900	4,659,933	108,967	2.3	92.9	92.0
2 営業外費用	342,223	385,399	△ 43,176	△ 11.2	6.7	7.6
3 特別損失	851	840	11	1.3	0.0	0.0
4 予備費	21,000	21,000	0	0.0	0.4	0.4

## 2 資本的収入及び支出

### (1) 収入

(単位：千円)

款 項	令和8年度	令和7年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和8年度	令和7年度
1 資本的収入	1,365,198	866,640	498,558	57.5	100.0	100.0
1 企業債	1,024,000	785,100	238,900	30.4	75.0	90.6
2 他会計補助金	8,802	8,772	30	0.3	0.7	1.0
3 国庫補助金	325,360	66,150	259,210	391.9	23.8	7.6
4 負担金等	6,938	6,490	448	6.9	0.5	0.8
5 固定資産売却代金	1	1	0	0.0	0.0	0.0
6 その他資本的収入	97	127	△ 30	△ 23.6	0.0	0.0

### (2) 支出

(単位：千円)

款 項	令和8年度	令和7年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和8年度	令和7年度
1 資本的支出	3,252,193	2,831,192	421,001	14.9	100.0	100.0
1 建設改良費	1,390,313	895,293	495,020	55.3	42.8	31.6
2 企業債償還金	1,860,808	1,934,827	△ 74,019	△ 3.8	57.2	68.4
3 その他資本的支出	72	72	0	0.0	0.0	0.0
4 予備費	1,000	1,000	0	0.0	0.0	0.0

## 6 国民健康保険事業特別会計予算の状況

平成30年度から、制度改革により県が財政運営の主体となり、市は県に国保事業費納付金を納付し、県からの交付金等を財源として、国民健康保険被保険者の病気、けが、出産及び死亡に関して保険給付を行っています。

また、40歳から74歳までの方を対象とした特定健診・特定保健指導及び一日人間ドック受検料の一部助成などの保健事業を行うために必要な経費が、この会計に計上されています。

国保加入世帯数を2万310世帯、被保険者数を2万9,414人と想定し、予算総額を対前年度比0.7%減の166億2,900万円としました。

### 1 歳入

(単位：千円)

款	令和8年度	令和7年度	比較増減	伸率 (%)	構成比 (%)	
					令和8年度	令和7年度
1 国民健康保険税	3,426,568	3,154,851	271,717	8.6	20.6	18.8
2 国庫支出金	4,208	2	4,206	210,300.0	0.0	0.0
3 県支出金	11,662,999	11,998,897	△ 335,898	△ 2.8	70.2	71.7
4 財産収入	2,808	140	2,668	1,905.7	0.0	0.0
5 繰入金	1,500,165	1,561,858	△ 61,693	△ 3.9	9.0	9.3
6 繰越金	1	1	0	0.0	0.0	0.0
7 諸収入	32,251	32,251	0	0.0	0.2	0.2
歳入合計	16,629,000	16,748,000	△ 119,000	△ 0.7	100.0	100.0

### 2 歳出

(単位：千円)

款	令和8年度	令和7年度	比較増減	伸率 (%)	構成比 (%)	
					令和8年度	令和7年度
1 総務費	299,866	343,507	△ 43,641	△ 12.7	1.8	2.1
2 保険給付費	11,474,783	11,777,168	△ 302,385	△ 2.6	69.0	70.3
3 国民健康保険事業費納付金	4,515,876	4,369,895	145,981	3.3	27.2	26.1
4 保健事業費	198,299	206,808	△ 8,509	△ 4.1	1.2	1.2
5 基金積立金	89,354	140	89,214	63,724.3	0.5	0.0
6 公債費	21	21	0	0.0	0.0	0.0
7 諸支出金	40,801	40,461	340	0.8	0.2	0.2
8 予備費	10,000	10,000	0	0.0	0.1	0.1
歳出合計	16,629,000	16,748,000	△ 119,000	△ 0.7	100.0	100.0

## 7 介護保険事業特別会計予算の状況

40歳以上の方が納める介護保険料及び国・県・市の負担金等を財源とし、介護が必要な方に訪問介護等の在宅サービスや特別養護老人ホーム入所等の施設サービスを提供するために必要な保険給付を行います。

第9期秦野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画では、第1号被保険者数を50,467人、要介護等認定者数を8,446人と想定しました。予算総額を対前年度比3.9%減の144億4,000万円としました。

### 1 歳入

(単位：千円)

款	令和8年度	令和7年度	比較増減	伸率(%)	構成比(%)	
					令和8年度	令和7年度
1 保 険 料	3,616,144	3,599,719	16,425	0.5	25.0	24.0
2 使用料及び手数料	200	250	△ 50	△ 20.0	0.0	0.0
3 国庫支出金	2,564,936	2,687,596	△ 122,660	△ 4.6	17.7	17.9
4 支払基金交付金	3,750,537	3,928,433	△ 177,896	△ 4.5	26.0	26.1
5 県支出金	2,047,122	2,148,279	△ 101,157	△ 4.7	14.2	14.3
6 財産収入	9,664	525	9,139	1,740.8	0.1	0.0
7 繰入金	2,451,161	2,666,962	△ 215,801	△ 8.1	17.0	17.7
8 繰越金	1	1	0	0.0	0.0	0.0
9 諸収入	235	235	0	0.0	0.0	0.0
歳入合計	14,440,000	15,032,000	△ 592,000	△ 3.9	100.0	100.0

### 2 歳出

(単位：千円)

款	令和8年度	令和7年度	比較増減	伸率(%)	構成比(%)	
					令和8年度	令和7年度
1 総務費	399,003	344,273	54,730	15.9	2.8	2.3
2 保険給付費	13,598,296	14,252,297	△ 654,001	△ 4.6	94.2	94.8
3 地域支援事業費	354,960	359,708	△ 4,748	△ 1.3	2.4	2.4
4 保健福祉事業費	4,544	4,461	83	1.9	0.0	0.0
5 基金積立金	9,664	525	9,139	1,740.8	0.1	0.0
6 公債費	35	28	7	25.0	0.0	0.0
7 諸支出金	72,498	69,708	2,790	4.0	0.5	0.5
8 予備費	1,000	1,000	0	0.0	0.0	0.0
歳出合計	14,440,000	15,032,000	△ 592,000	△ 3.9	100.0	100.0

## 8 後期高齢者医療事業特別会計予算の状況

後期高齢者医療広域連合への保険料等負担金や事務費及び後期高齢者医療制度被保険者を対象とする人間ドック受検料の一部助成や重症化予防事業などの保健事業を行うために必要な経費がこの会計に計上されています。

75歳以上及び65歳以上で一定の障害がある後期高齢者医療制度被保険者数を2万9,985人と想定し、予算総額を対前年度比15.6%増の39億4,100万円としました。

### 1 歳入

(単位：千円)

款	令和8年度	令和7年度	比較増減	伸率(%)	構成比(%)	
					令和8年度	令和7年度
1 後期高齢者医療保険料	3,256,378	2,780,249	476,129	17.1	82.6	81.5
2 国庫支出金	8,415	0	8,415	皆増	0.2	0.0
3 繰入金	659,543	586,538	73,005	12.4	16.8	17.2
4 繰越金	11,700	38,249	△26,549	△69.4	0.3	1.1
5 諸収入	4,964	4,964	0	0.0	0.1	0.2
歳入合計	3,941,000	3,410,000	531,000	15.6	100.0	100.0

### 2 歳出

(単位：千円)

款	令和8年度	令和7年度	比較増減	伸率(%)	構成比(%)	
					令和8年度	令和7年度
1 総務費	115,551	124,135	△8,584	△6.9	2.9	3.6
2 後期高齢者医療広域連合納付金	3,788,525	3,255,235	533,290	16.4	96.1	95.5
3 保健事業費	27,424	23,966	3,458	14.4	0.7	0.7
4 諸支出金	7,500	4,664	2,836	60.8	0.2	0.1
5 予備費	2,000	2,000	0	0.0	0.1	0.1
歳出合計	3,941,000	3,410,000	531,000	15.6	100.0	100.0

## 9 資料

### 1 人口及び世帯数（令和8年4月1日現在）

（令和2年国勢調査確定値に、毎月の住民基本台帳登録の異動を加減し推計した数値です。）

(1) 人口総数 159,149人

(2) 世帯数 74,384世帯

1世帯当たり 2.14人

《参考》

年齢別住民基本台帳人口（令和8年3月末日現在）

年 齢	人 口	構 成 比	内 訳			
			男		女	
			人 口	構 成 比	人 口	構 成 比
0～14歳	15,000人	9.5%	7,736人	9.8%	7,264人	9.3%
15～64歳	92,237人	58.7%	48,483人	61.5%	43,754人	55.9%
65歳～	49,948人	31.8%	22,668人	28.7%	27,280人	34.8%
合 計	157,185人	100.0%	78,887人	100.0%	78,298人	100.0%

地区別住民基本台帳人口及び世帯数

区分	人 口			世 帯 数
	計	男	女	
本 町	20,780	10,514	10,266	10,292
南	32,389	16,037	16,352	15,099
東	15,305	7,584	7,721	7,276
北	13,098	6,641	6,457	6,113
大根	22,395	11,632	10,763	12,387
鶴巻	13,618	6,655	6,963	7,388
西	37,820	18,933	18,887	18,184
上	1,780	891	889	865
市 計	157,185人	78,887人	78,298人	77,604世帯

## 2 面積

- (1) 総面積（令和8年4月1日現在） 103.76Km<sup>2</sup>
- (2) 都市計画区域別面積
- ・市街化区域面積 24.58Km<sup>2</sup>
  - ・市街化調整区域面積 79.18Km<sup>2</sup>
- (3) DID（人口集中地区）区域別面積（令和2年10月1日の国勢調査による。）
- ・DID区域内面積 23.16Km<sup>2</sup>
  - ・DID区域外面積 80.60Km<sup>2</sup>
- (4) 地目別面積（令和7年1月1日現在固定資産概要調書による。）

単位：Km<sup>2</sup>

田	畑	宅地	山林	原野	ゴルフ場	鉄道用地	雑種地	その他
2.02	12.02	18.02	14.94	1.86	2.42	0.28	3.02	49.18

## 3 水道事業の概要

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
給水人口(人)	161,786	161,429	160,820	160,231	159,313

(※令和8年3月末現在)

## 4 公共下水道普及状況

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
行政区域人口(人)：A		159,675	159,315	158,710	158,105	157,185
処理区域内人口(人)：B		140,633	140,463	139,870	139,372	138,661
水洗化人口(人)：C		129,973	130,490	130,498	130,260	129,726
普及率	$\frac{\text{処理区域人口}}{\text{行政区域人口}} (\%) \frac{B}{A}$	88.1	88.2	88.1	88.2	88.2
	$\frac{\text{水洗化済人口}}{\text{処理区域人口}} (\%) \frac{C}{B}$	92.4	92.9	93.3	93.5	93.6

\* 行政区域人口は、各年度末の住民基本台帳による。

\* 令和8年3月末現在

## 5 国民健康保険加入状況

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
全世帯数(世帯)	74,651	75,579	76,211	77,019	77,604
加入世帯数(世帯)	23,990	22,490	22,352	21,369	21,000
全人口(人)	159,675	159,315	158,710	158,105	157,185
被保険者数(人)	36,386	34,716	32,643	30,738	29,646

※世帯数・人口は、各年度末の住民基本台帳による。

## 6 介護保険加入状況

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
全人口(人)	159,675	159,315	158,710	158,105	157,185
第1号被保険者数(人)	49,226	49,373	49,613	49,876	49,948
要介護等認定者数(人)	7,447	7,636	7,703	7,931	8,182

※人口は、各年度末の住民基本台帳による。

## 7 後期高齢者医療保険加入状況

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
全人口(人)	159,675	159,315	158,710	158,105	157,185
被保険者数(人)	24,116	25,645	27,117	28,451	29,479

※人口は、各年度末の住民基本台帳による。

## 8 ごみと資源物の収集状況

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
可燃ごみ(t)	33,859	33,213	32,173	31,761	30,920
不燃・粗大ごみ(t)	2,072	1,783	1,719	1,656	1,475
資源物(t)	11,825	11,475	10,977	10,348	10,189
計(t)	47,756	46,471	44,869	43,765	42,584

※市が収集、処理したごみ・資源物の総量

※令和7年度の数値は速報値

## 9 学校別児童生徒数（令和8年4月1日現在）

### (1) 小学校

区分	本町	東	南	北	大根	西	上	広畑	渋沢
男(人)	349	242	503	281	199	317	39	47	361
女(人)	290	219	447	273	184	279	45	44	283
計(人)	639	461	950	554	383	596	84	91	644

区分	末広	南が丘	堀川	鶴巻	合計
男(人)	210	241	228	304	3,321
女(人)	218	235	236	336	3,089
計(人)	428	476	464	640	6,410

### (2) 中学校

区分	本町	東	南	北	大根	西	南が丘	渋沢	鶴巻
男(人)	315	157	298	200	161	300	143	193	196
女(人)	297	130	258	167	139	298	128	161	180
計(人)	612	287	556	367	300	598	271	354	376

区分	合計
男(人)	1,963
女(人)	1,758
計(人)	3,721



**予算のあらまし**  
**令和8年度（2026年度）**

令和8年4月15日発行

秦野市 政策部 財政課

TEL 82-5116（直通）